＜アクション（1）A1＞

事務室に勤務していた係長が負傷しました。

頭部から流血していますが、裂傷は浅く、

意識はしっかりしています。

＜アクション（1） B1＞

事務室に勤務していた係長が負傷しました。

意識はしっかりしていますが、右足を骨折したようで、動き回ることができません。

＜アクション（1）A2＞

カウンターから見渡した限り、児童書架が

一部転倒しています。

倒れた書架の下には落下した本が床を埋める

ような状態で散らばっています。

＜アクション（1） B2＞

カウンターから見渡した限り、開架の書架は

倒壊していませんが、郷土コーナーの壁面書架

から本の飛び出しがあり、80センチほどの高さに積み上がっています。

＜アクション（2）A1＞

閉架書庫内で書架の半数が将棋倒しになっています。その先に進むことができない状態です。

＜アクション（2）B1＞

閉架書庫内火災報知器が誤作動はじめたようです。中にまだ職員が残っています。

＜アクション（2）A2＞

駆け寄ってきた利用者が、児童書架から飛び出した本でけがをしたと訴えています。

＜アクション（2）B2＞

駆け寄ってきた利用者が「テラスの外にいる家族が中に入れなくなった」と訴えています。

＜アクション（2）A3＞

観光客である利用者が「一緒に来た家族みあたらない」と号泣しています。

＜アクション（2）B3＞

外国人の利用者が何か訴えていますが、言葉が通じません。

＜アクション（3）A1＞

利用者が「家族は確か博物館へ行くといっていた」と訴えています。

＜アクション（3）B1＞

先ほどの外国人がジェスジャーでいうにはどうやら家族と連絡をとりたいので電話をかしてほしいといっているようです。

＜アクション（3）A2＞

家族が見あたらないと訴えてきた利用者がパニックで号泣しています。

＜アクション（3）B2＞

利用者の一人が、「展望室にまだ人がいたようだ」と強く訴えています。

＜アクション（4）A1＞

利用者から「家族と連絡をとるために館内の荷物の中にある携帯電話やスマートフォンを取り出したい」という希望が寄せられています。

＜アクション（4）B1＞

利用者から「もう自宅に帰りたい」という訴えが寄せられています。

＜アクション（4）A2＞

引き続き、利用者が「家族が見当たらない。」と言っていたと訴えています。

＜アクション（4）B2＞

引き続き、利用者が「家族が見当たらない。避難を始めるときまでは一緒にいた」と訴えています。＜アクション（4）A3＞

一次避難先で遭遇した課長が館内にある貴重書コレクションの管理状況を尋ねてきました。

＜アクション（4）B3＞

一次避難先で遭遇した課長が貴重書コレクションの管理状況を尋ねてきました。